

市民意識調査結果概要

佐倉市では、現在、平成 23 年度からの新しい総合計画（まちづくりの指針）の策定作業を、市民の皆さんの協力を得ながら進めています。その一つとして、昨秋、市民意識調査を実施しました。市民の皆さんが、佐倉市の現状や将来をどのようにとらえているのかを調査しました。

調査の方法	
○調査の対象	市内に居住する満 20 歳以上の男女 5,000 人
○調査時期	平成 20 年 10 月 24 日（金）～11 月 7 日（金）
○調査方法	郵送による送付・回収（自記式、無記名）
○回収状況	3,028 件（回収率 60.5%）

調査項目
①佐倉市のいいところ、悪いところ … p 1
②佐倉市内の好きな場所・もの … p 2
③住みよさと定住意向 … p 4
④ご近所づきあい … p 7
⑤将来の不安について … p 8
⑥老後の生活について … p 9
⑦将来の佐倉市のイメージとしてふさわしい言葉 … p 10
⑧佐倉市の特色を活かして、どんな都市にしたいか … p 11
⑨今後の市政で特に力を入れてほしいこと … p 12
⑩市の計画の策定過程に参加するならどの部門か … p 14
⑪コミュニティ活動への参加意向 … p 15
⑫コミュニティ活動への参加状況 … p 16

調査の結果

①佐倉市のいいところ、悪いところ

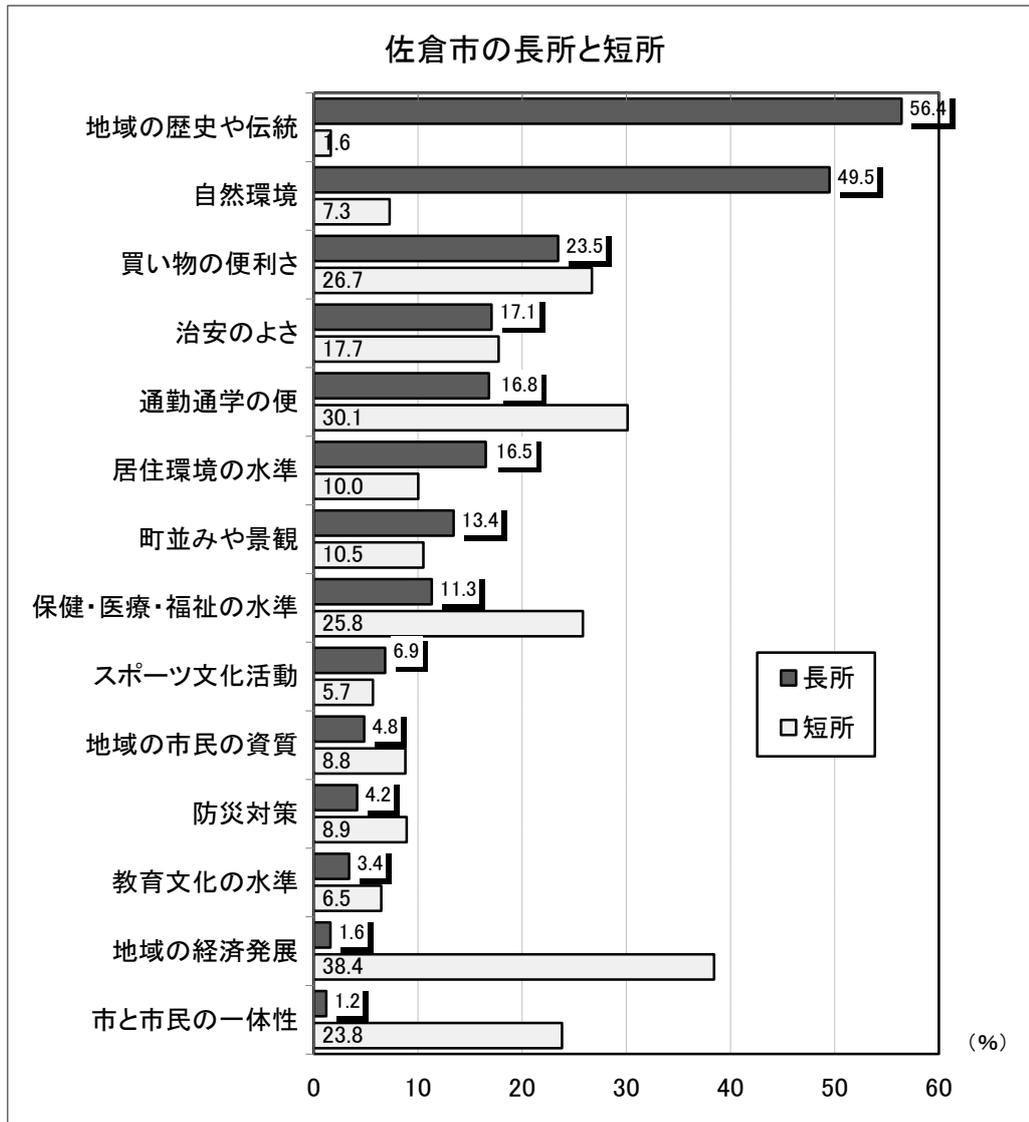
長所：「地域の歴史や伝統」…56.4%、「自然環境」…49.5%

欠点：「地域の経済発展」…38.4%、「通勤通学の便」…30.1%

市の長所は「地域の歴史や伝統」、「自然環境」が、他の項目（「買い物の便利さ」（23.5%）、「治安の良さ」（17.1%）等）を大きく引き離して上位に挙げられました。

一方、欠点は「地域の経済発展」が、平成10年に調査した前回（20.4%）から大幅に増えて第1位。「通勤通学の便」も、前回（33.3%、第1位）同様、多くの人不満に思っていることがわかりました。

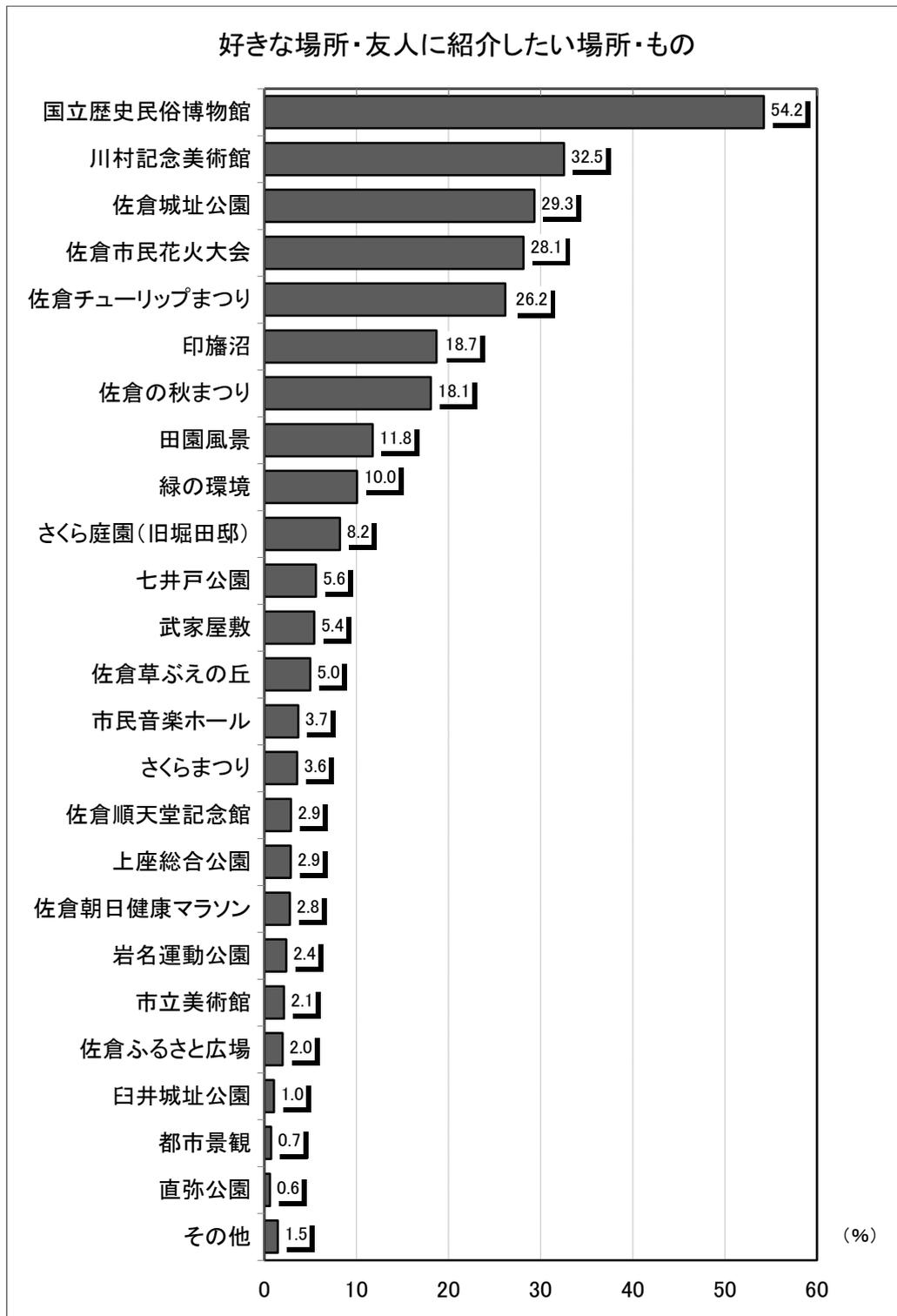
また、「買い物の便利さ」は長所、欠点でともに第3位（それぞれ23.5%、26.7%）に挙げられています。



②佐倉市内の好きな場所・もの

「国立歴史民俗博物館」…54.2%、「川村記念美術館」…32.5%、「佐倉城址公園」…29.3%

これらに続くのは「佐倉市民花火大会」(28.1%)、「佐倉チューリップまつり」(26.2%)。歴史や文化、自然に関連する施設やイベントが多くの人々の支持を得ていることがわかりました。



●好きな場所、友人に紹介したい場所・もの《年齢別》

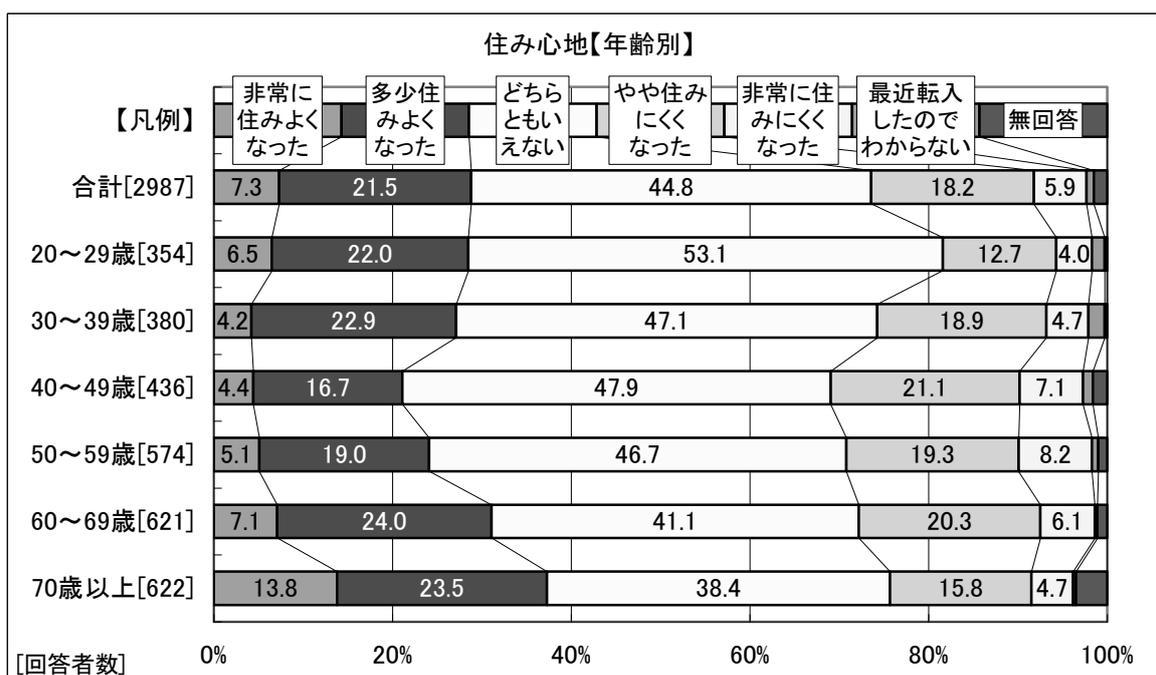
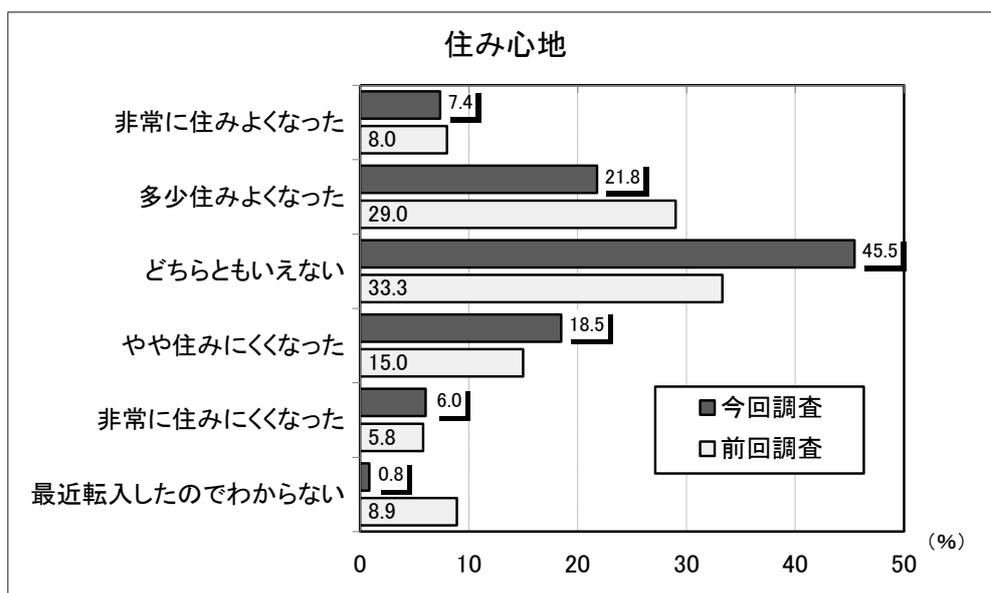
	(単位:%)	合計	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
1	国立歴史民俗博物館	51.8	40.4	43.7	49.5	56.6	55.7	56.6
2	川村記念美術館	30.8	25.1	31.1	32.3	34.0	32.4	28.5
3	佐倉城址公園	28.0	19.5	20.5	21.1	29.8	37.7	30.9
4	佐倉市民花火大会	26.8	51.4	40.8	32.6	22.6	16.3	14.6
5	佐倉チューリップまつり	24.8	34.5	27.4	27.1	22.0	20.3	23.5
6	印旛沼	17.8	11.6	13.9	15.4	18.1	22.9	20.3
7	佐倉の秋まつり	17.2	23.2	20.3	17.4	17.2	15.8	13.2
8	田園風景	11.1	15.0	12.6	9.4	12.9	11.1	7.7
9	緑の環境	9.6	8.2	9.2	10.3	9.9	10.8	8.7
10	さくら庭園(旧堀田邸)	7.8	2.8	5.8	4.6	8.4	11.0	10.5
11	七井戸公園	5.3	8.5	6.8	5.7	4.2	3.2	5.1
12	武家屋敷	5.2	5.6	2.9	4.8	5.9	6.6	4.3
13	佐倉草ぶえの丘	4.8	4.2	5.0	3.9	4.2	5.2	5.6
14	さくらまつり	3.4	4.0	2.6	4.4	3.1	3.1	3.4
15	市民音楽ホール	3.4	4.0	4.7	3.2	1.9	2.6	4.8
16	佐倉順天堂記念館	2.7	1.4	1.8	2.8	4.4	2.1	3.2
17	上座総合公園	2.7	1.7	3.4	2.5	2.1	3.9	2.6
18	佐倉朝日健康マラソン	2.6	1.7	2.6	3.2	2.3	2.7	2.7
19	岩名運動公園	2.3	3.4	2.9	3.0	2.1	1.0	2.3
20	市立美術館	2.0	1.7	2.9	3.2	1.6	1.6	1.6
21	佐倉ふるさと広場	1.9	0.6	1.8	1.8	1.4	3.1	1.9
22	臼井城址公園	1.0	0.6	1.1	1.4	0.5	1.1	1.3
23	都市景観	0.7	1.4	0.5	0.2	0.7	0.3	1.1
24	直弥公園	0.6	0.8	0.8	-	1.0	0.5	0.3
25	その他	1.4	3.1	1.6	1.6	1.2	0.6	1.1
26	無回答	4.8	1.7	2.9	3.9	4.5	5.2	8.4

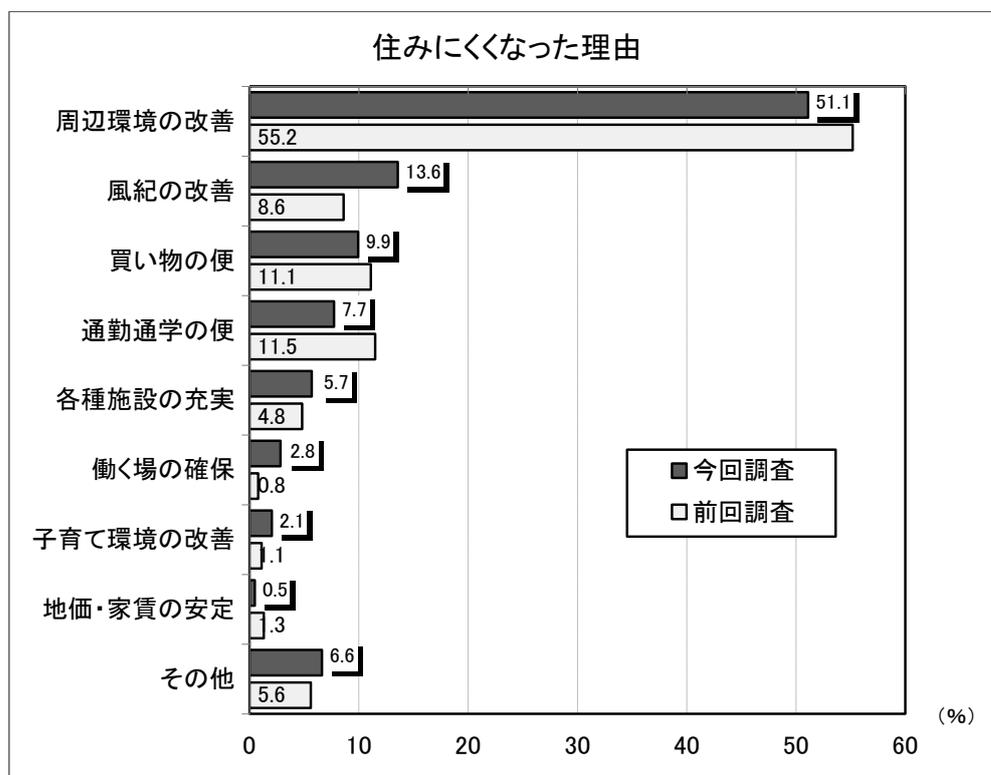
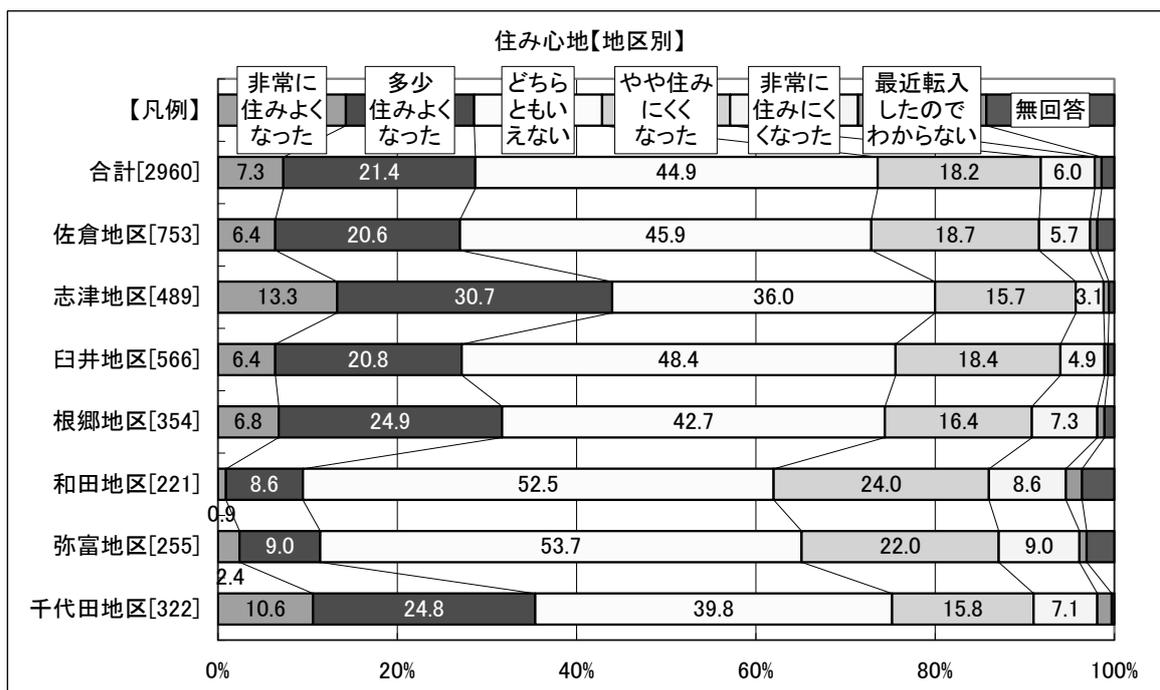
③ 住みよさと定住意向

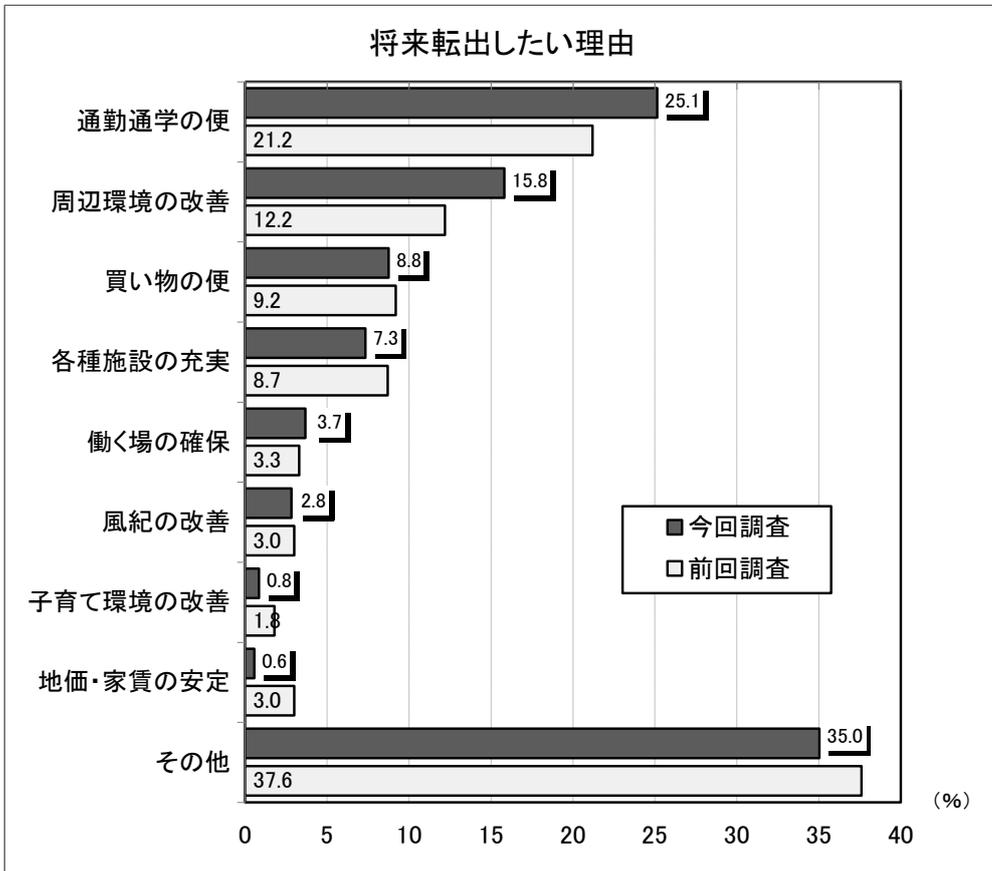
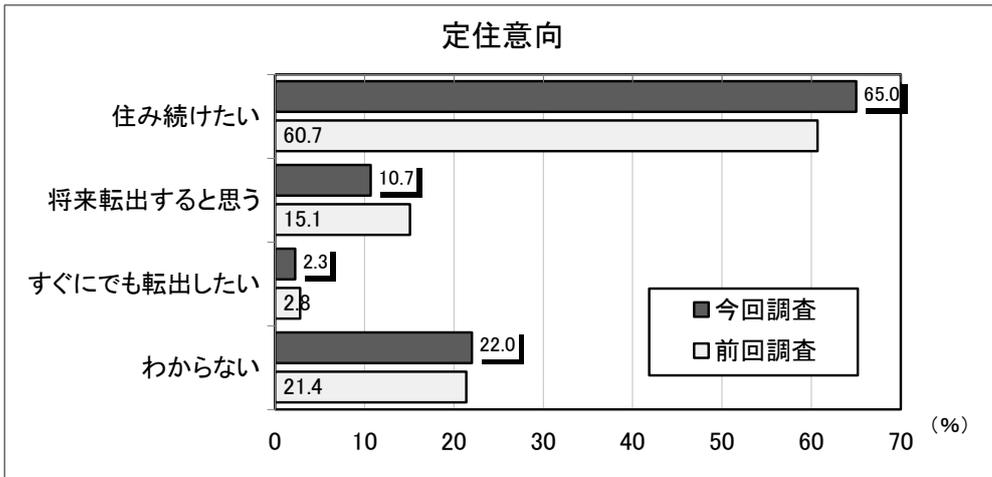
「住みよくなった」…29.2%、「住み続けたい」…63.6%

現在お住まいの場所が、以前（5年前くらい）に比べて住みよくなったかどうか質問したところ、「住みよくなった」（29.2%）、「住みにくくなった」（24.5%）と肩を並べています。

また、住みよさに関連して、今後の定住意向について質問しました。結果は、「住み続けたい」（65.0%）が、「将来転出すると思う」「すぐにでも転出したい」（合わせて13.0%）を大きく上回っています。



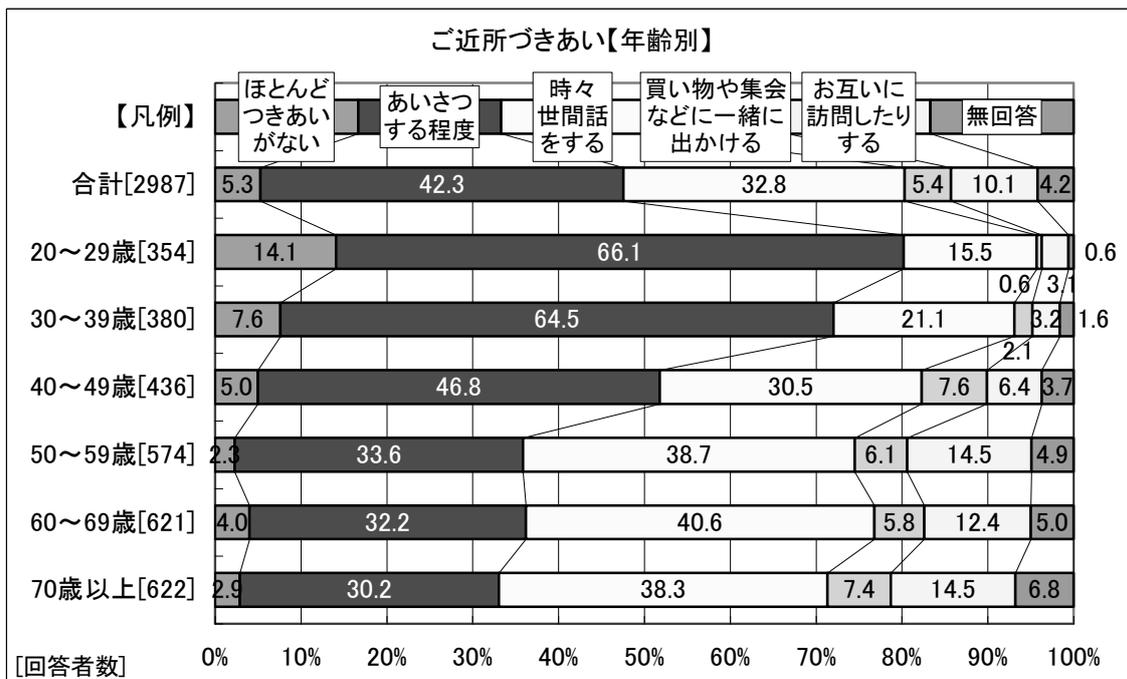
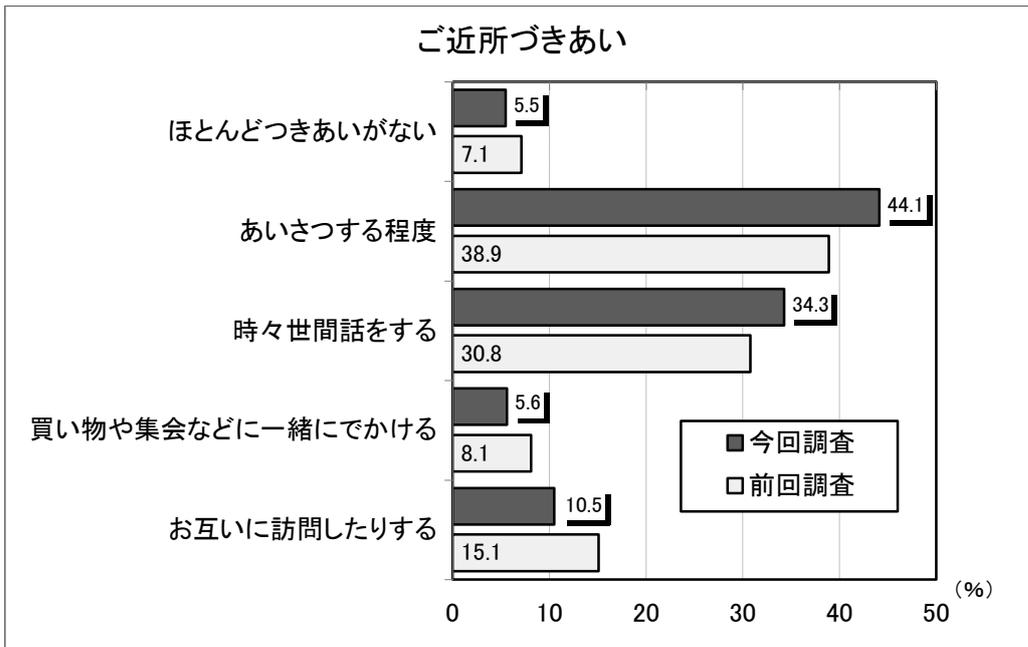




④ご近所づきあい

「あいさつする程度」…44.1%、「時々世間話をする」…34.3%

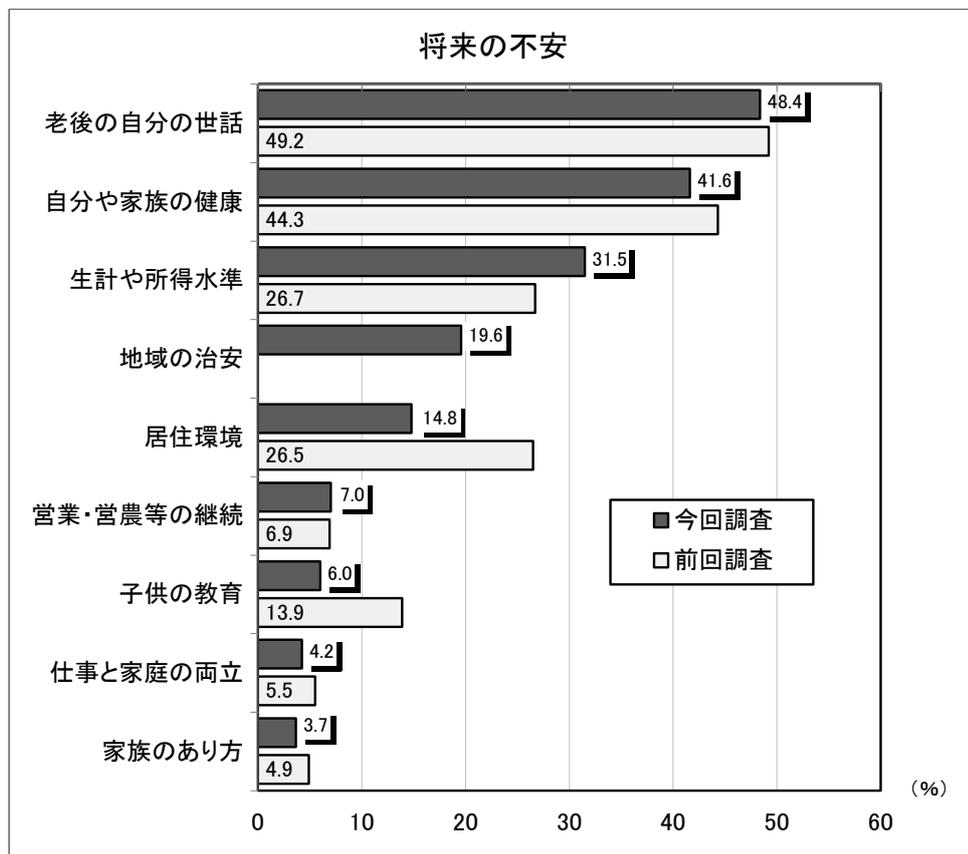
「あいさつする程度」が44.1%、「ときどき世間話をする」が34.3%、「お互いに訪問したりする」は10.5%となっています。前回の調査から、親密な付き合いは減ったがあいさつする程度の付き合いは増えています。



⑤将来の不安について

「老後の自分の世話」…48.4%、「自分や家族の健康」…41.6%

これから先、最も不安に感じるものについて質問したところ、高齢化や健康への不安を示すものが上位となりました。これに続くものとして、「生計や所得水準」（31.5%）、「地域の治安」（19.6%）が挙げられています。



●将来の不安《年齢別》

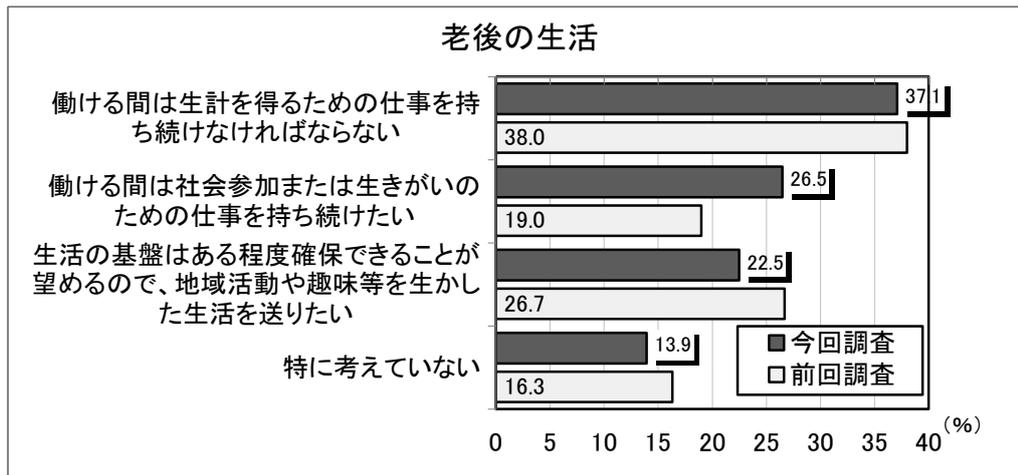
(単位: %)	合計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
老後の自分の世話	47.1	28.0	36.6	43.6	44.8	58.3	58.0
自分や家族の健康	40.7	33.3	35.0	38.8	43.7	42.5	45.2
生計や所得水準	30.9	44.4	45.3	36.7	31.2	25.0	15.9
地域の治安	19.0	23.7	20.5	19.3	19.7	20.1	13.5
居住環境	14.5	16.7	14.2	18.1	17.2	14.0	8.7
営業・営農等の継続	6.9	6.2	4.2	7.3	10.5	6.6	5.5
子供の教育	5.9	9.9	13.4	10.8	2.8	2.3	1.9
仕事と家庭の両立	4.1	13.3	7.9	3.0	2.6	1.4	1.4
家族のあり方	3.6	3.7	4.2	3.2	3.3	5.2	2.3
近所との交流	3.3	2.8	2.9	3.2	2.3	3.1	5.1
その他	1.8	3.1	2.1	1.4	1.2	2.1	1.6
無回答	2.3	0.3	0.8	1.6	1.6	1.6	6.4

⑥老後の生活について

「仕事を持つ」…63.6%

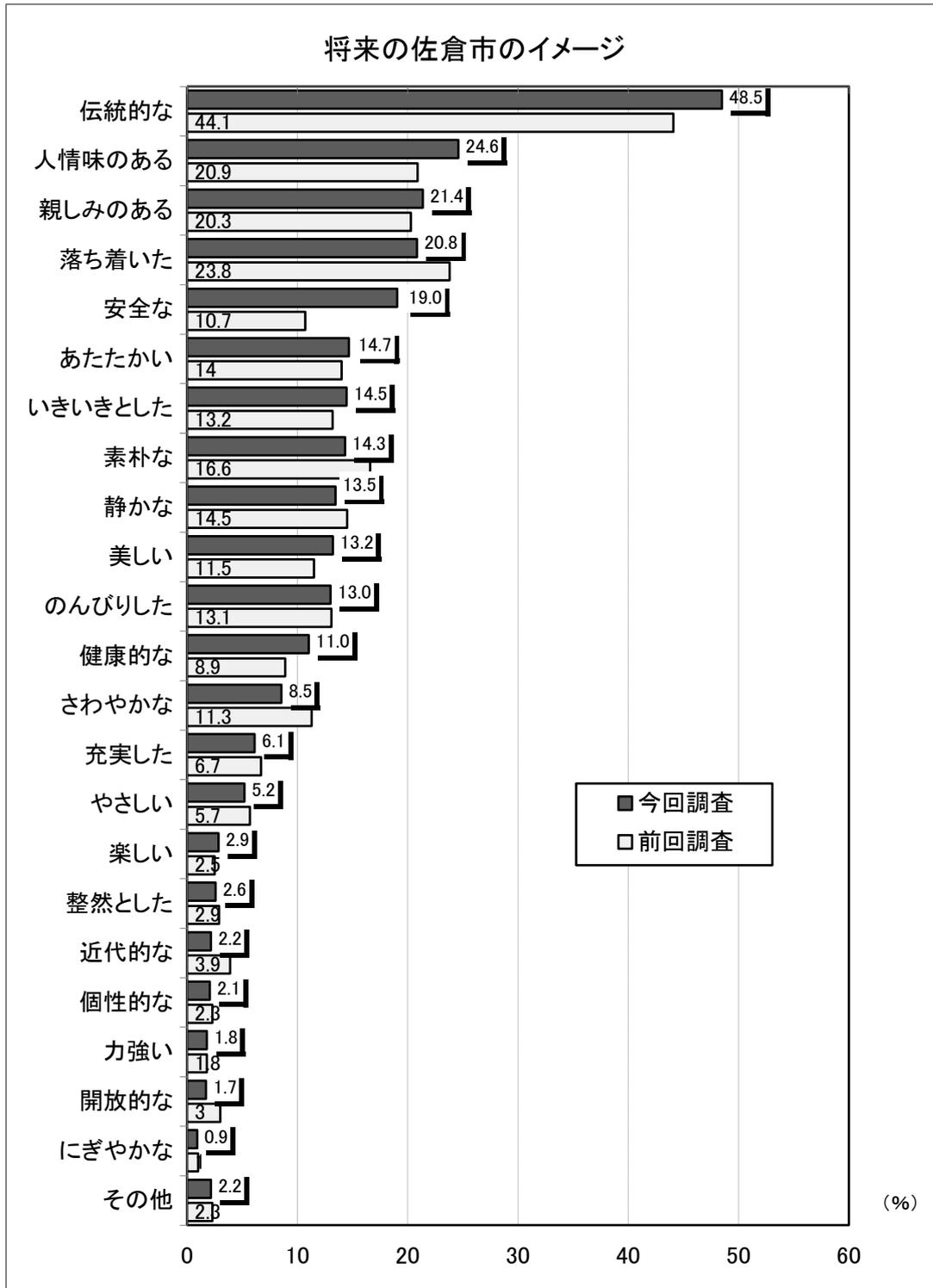
希望する老後の生活に関しては、6割以上の方が「仕事を持つ」（「生計を得るために仕事を続ける」と「社会参加、生きがいのため仕事を続ける」の合計63.6%）と回答しました。

「社会参加、生きがいのため仕事を続ける」は26.5%で、前回調査の19.0%から大幅に増加しています。



⑦将来の佐倉市のイメージとしてふさわしい言葉
「伝統的な」…48.5%

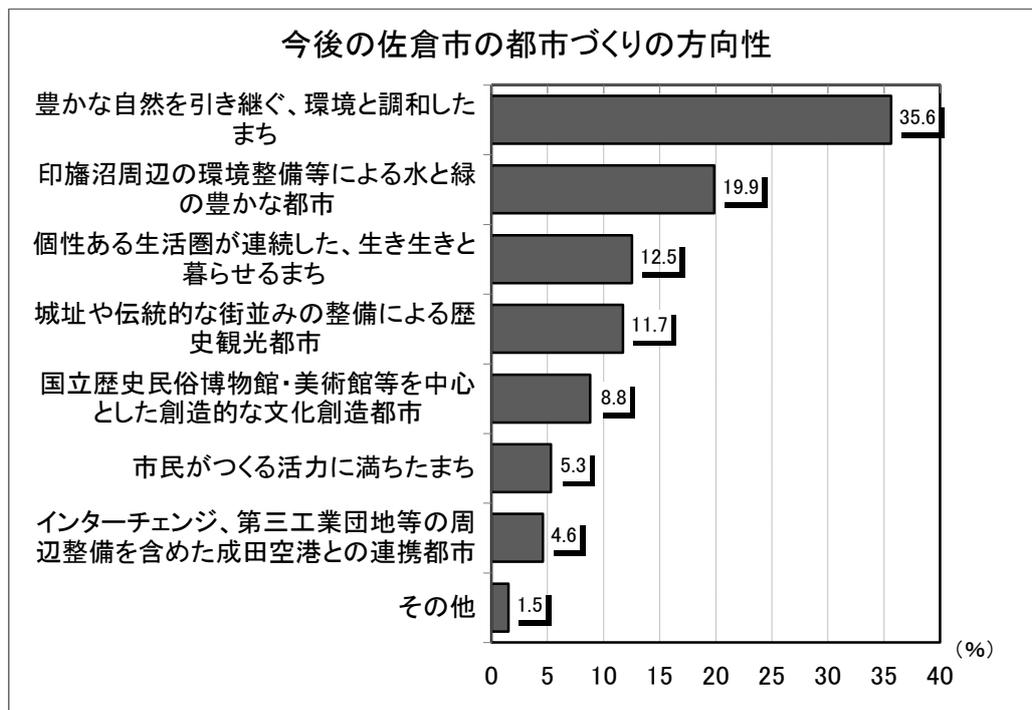
歴史を連想させる「伝統的な」が、他を引き離して1位に支持されました。「人情味のある」、「親しみのある」、「落ち着いた」がそれぞれ約20%で続きます。



⑧佐倉市の特色を活かして、どんな都市にしたいか

「自然豊かな環境と調和したまち」…35.6%、「水と緑の豊かな都市」…19.9%

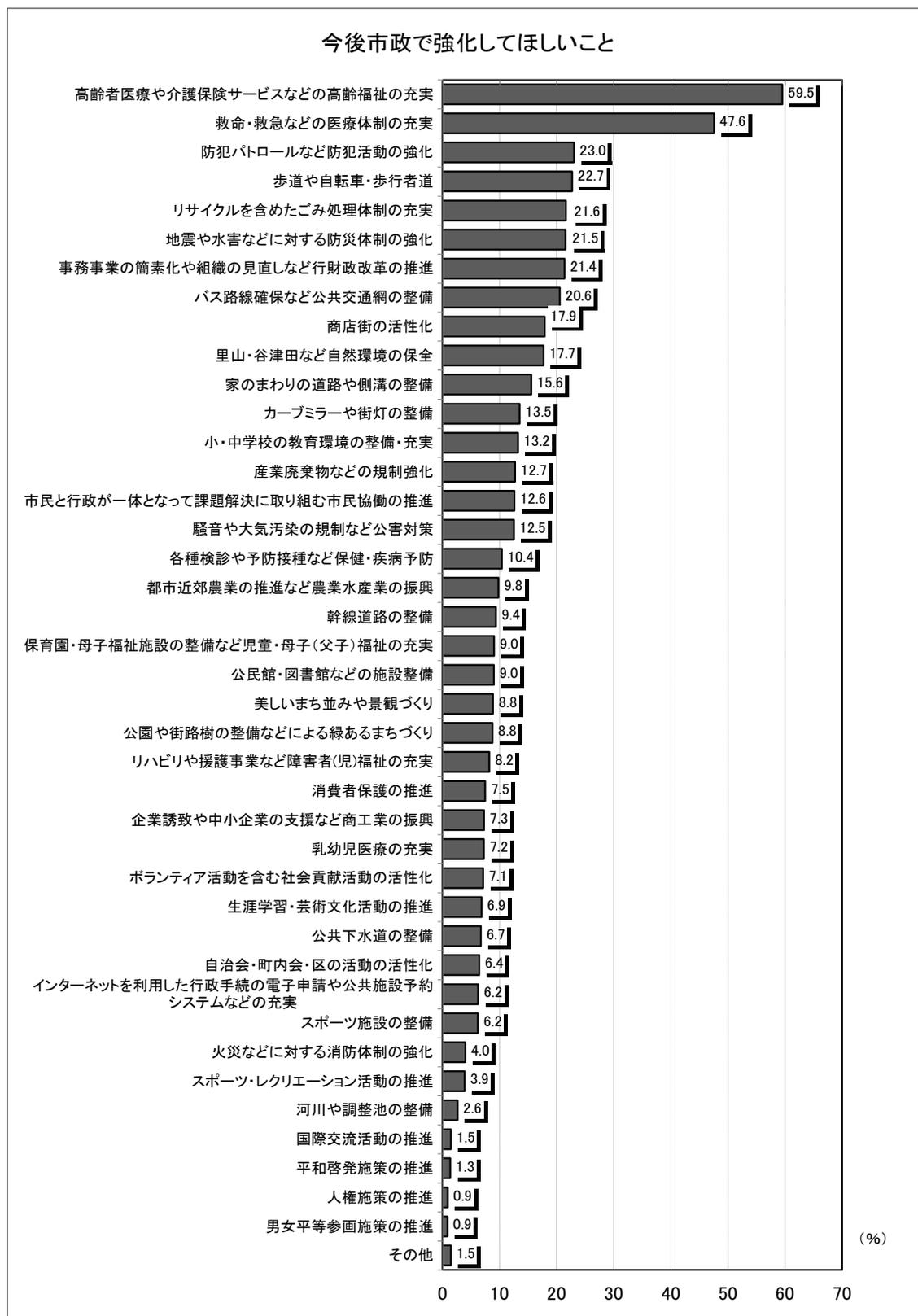
上位2つの結果から、多くのかたが自然環境を重視した都市を求めているとわかりました。「個性ある生活圏が連続した、生き生きと暮らせるまち」(12.5%)、「歴史観光都市」(11.7%)、「文化創造都市」(8.8%)が続きます。



⑨今後の市政で特に力を入れてほしいこと

「高齢者医療や高齢福祉充実」…59.5%、「救命・救急などの医療体制の充実」…47.6%

将来の不安として上位に挙げられた「老後」「健康」に対応した施策が、他を引き離して上位に支持されました。また、これに続くのが「防犯活動の強化」「歩道や自転車・歩行者道整備」「ごみ処理体制の充実」「防災体制の強化」（いずれも2割強）となっており、高齢化社会でも安全・安心に暮らせるまちづくりが求められていることがうかがえます。



●今後の市政で特に力を入れてほしいこと《年齢別》

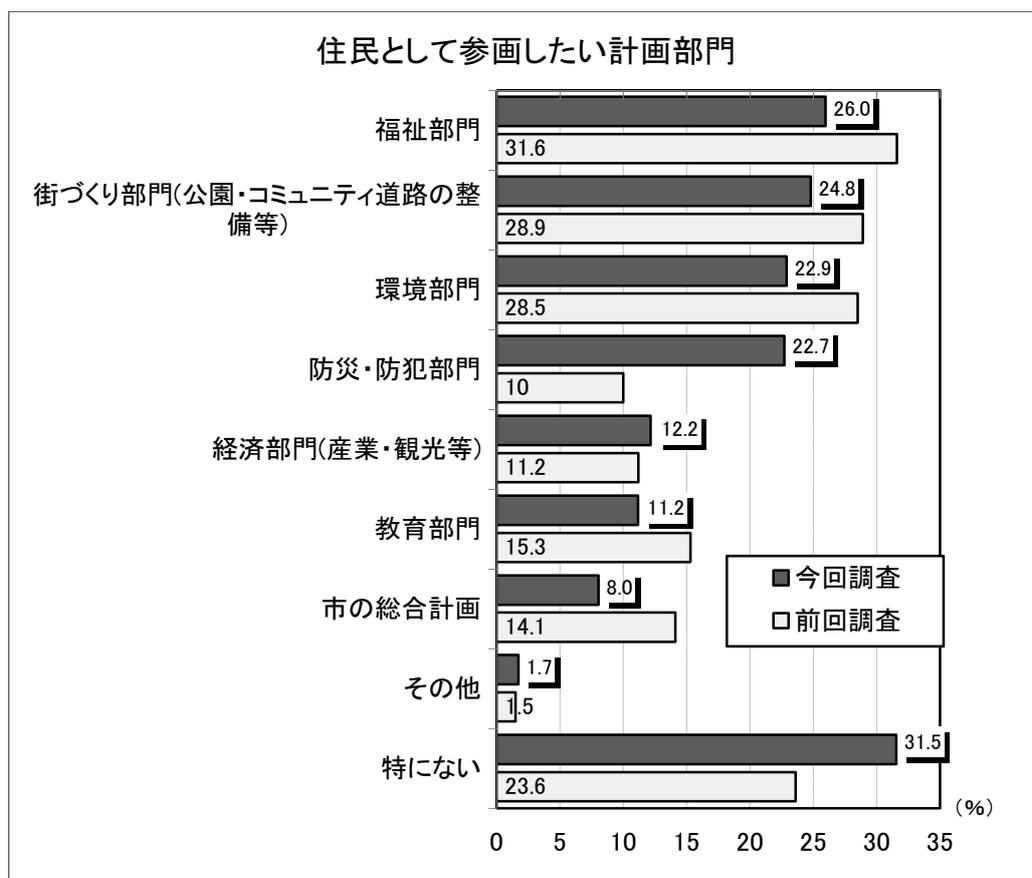
(単位:%)	合計	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
高齢者医療や介護保険サービスなどの高齢福祉の充実	58.7	37.9	44.7	51.8	60.1	67.6	73.8
救命・救急などの医療体制の充実	46.8	47.5	51.6	52.8	47.9	44.6	40.7
防犯パトロールなど防犯活動の強化	22.7	22.9	25.8	20.0	21.1	23.0	23.6
歩道や自転車・歩行者道	22.4	18.9	22.6	18.1	20.6	25.1	26.0
リサイクルを含めたごみ処理体制の充実	21.2	19.5	21.3	20.6	24.4	20.9	19.8
地震や水害などに対する防災体制の強化	21.2	26.3	23.9	21.3	18.8	22.4	17.4
事務事業の簡素化や組織の見直しなど行財政改革の推進	21.1	11.6	20.8	16.5	21.8	29.3	20.9
バス路線確保など公共交通網の整備	20.2	19.2	20.3	18.8	20.4	19.3	22.5
商店街の活性化	17.6	19.5	16.8	16.1	17.4	18.7	17.0
里山・谷津田など自然環境の保全	17.4	15.5	13.2	18.6	17.8	20.3	17.0
家のまわりの道路や側溝の整備	15.3	7.1	10.8	17.0	18.3	14.7	19.6
カーブミラーや街灯の整備	13.3	21.2	16.3	13.1	12.9	10.6	10.0
小・中学校の教育環境の整備・充実	13.1	12.4	15.3	16.3	11.5	12.4	12.1
産業廃棄物などの規制強化	12.4	7.3	8.9	15.8	15.0	12.4	12.4
市民と行政が一体となって課題解決に取り組む市民協働の推進	12.4	6.5	10.3	7.8	13.1	17.2	14.6
騒音や大気汚染の規制など公害対策	12.3	13.6	13.9	12.4	9.4	13.0	12.2
各種検診や予防接種など保健・疾病予防	10.2	10.2	15.0	9.2	6.6	8.5	13.2
都市近郊農業の推進など農業水産業の振興	9.6	6.2	7.9	10.6	12.4	9.7	9.2
幹線道路の整備	9.2	9.9	9.2	10.8	11.3	7.2	7.7
保育園・母子福祉施設の整備など児童・母子(父子)福祉の充実	8.9	15.0	17.1	7.1	8.0	6.0	5.5
公民館・図書館などの施設整備	8.8	13.8	7.4	8.3	6.8	8.9	9.0
美しいまち並みや景観づくり	8.6	15.3	10.3	6.7	8.2	8.2	5.9
公園や街路樹の整備などによる緑あるまち	8.6	11.3	7.6	8.7	7.7	7.4	9.8
リハビリや援護事業など障害者(児)福祉の充実	8.1	7.1	5.8	4.8	7.3	9.3	11.7
消費者保護の推進	7.4	5.1	7.4	5.0	5.6	7.7	11.6
乳幼児医療の充実	7.1	11.0	13.9	5.0	5.4	5.5	5.5
企業誘致や中小企業の支援など商工業の振興	7.1	8.8	8.4	7.3	6.8	7.4	5.3
ボランティア活動を含む社会貢献活動の活性化	7.0	4.2	3.9	3.9	8.5	9.5	8.5
生涯学習・芸術文化活動の推進	6.8	5.4	4.7	5.3	8.5	7.1	7.9
公共下水道の整備	6.6	2.8	5.8	9.4	8.9	6.3	5.6
自治会・町内会・区の活動の活性化	6.4	2.8	1.3	3.4	7.5	7.4	11.6
スポーツ施設の整備	6.2	13.3	8.2	6.7	6.3	4.5	2.1
インターネットを利用した行政手続の電子申請や公共施設予約システムなどの充実	6.1	13.3	12.1	7.3	5.1	2.3	2.4
火災などに対する消防体制の強化	3.9	2.3	3.7	3.0	3.5	5.0	5.0
スポーツ・レクリエーション活動の推進	3.8	3.7	2.1	3.0	3.1	5.8	4.2
河川や調整池の整備	2.6	2.8	1.8	1.8	2.6	3.5	2.6
国際交流活動の推進	1.4	3.4	2.1	0.2	0.7	1.0	1.9
平和啓発施策の推進	1.3	0.3	2.1	1.1	0.3	2.3	1.4
人権施策の推進	0.9	0.8	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0
男女平等参画施策の推進	0.8	2.3	1.3	0.5	0.7	0.6	0.3
その他	1.4	1.4	2.4	2.1	1.0	1.6	0.6

⑩市の計画の策定過程に参加するならどの部門か

「福祉部門」…26.0%、「街づくり部門（公園・コミュニティ道路の整備等）」…24.8%
 「環境部門」…22.9%、「防災・防犯部門」…22.7%、「特にない」…31.5%

どの部門も2割強の関心を得ていますが、最も多いのは「特にない」（31.5%）で、平成10年度調査の23.6%から大きく増えています。

市は「佐倉市市民協働の推進に関する条例」を平成18年度に制定したほか、市政情報の公開を次々と進めています。まちづくりに関心を持っていただくような取り組みを進め、今後も市民の皆さんと力を合わせたまちづくりを展開したいと考えています。



●住民として参画したい計画部門《年齢別》

(単位: %)	合計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
福祉部門	22.9	24.9	24.2	22.2	24.7	23.5	19.1
街づくり部門(公園・コミュニティ道路の整備等)	21.9	29.1	22.4	19.3	20.9	25.4	16.7
環境部門	20.1	24.9	16.1	22.2	22.6	23.0	13.2
防災・防犯部門	20.0	16.1	16.6	21.3	20.7	23.7	19.0
経済部門(産業・観光等)	10.6	13.8	14.2	9.2	12.9	9.3	6.8
教育部門	9.8	17.5	16.8	12.4	6.8	6.9	5.0
市の総合計画	7.1	7.1	9.5	4.4	8.7	7.6	5.6
その他	1.5	0.8	1.8	1.1	1.2	1.6	2.1
特にない	27.7	22.6	29.7	30.0	28.2	25.3	29.6
無回答	12.1	4.5	4.2	7.3	9.2	12.9	26.2

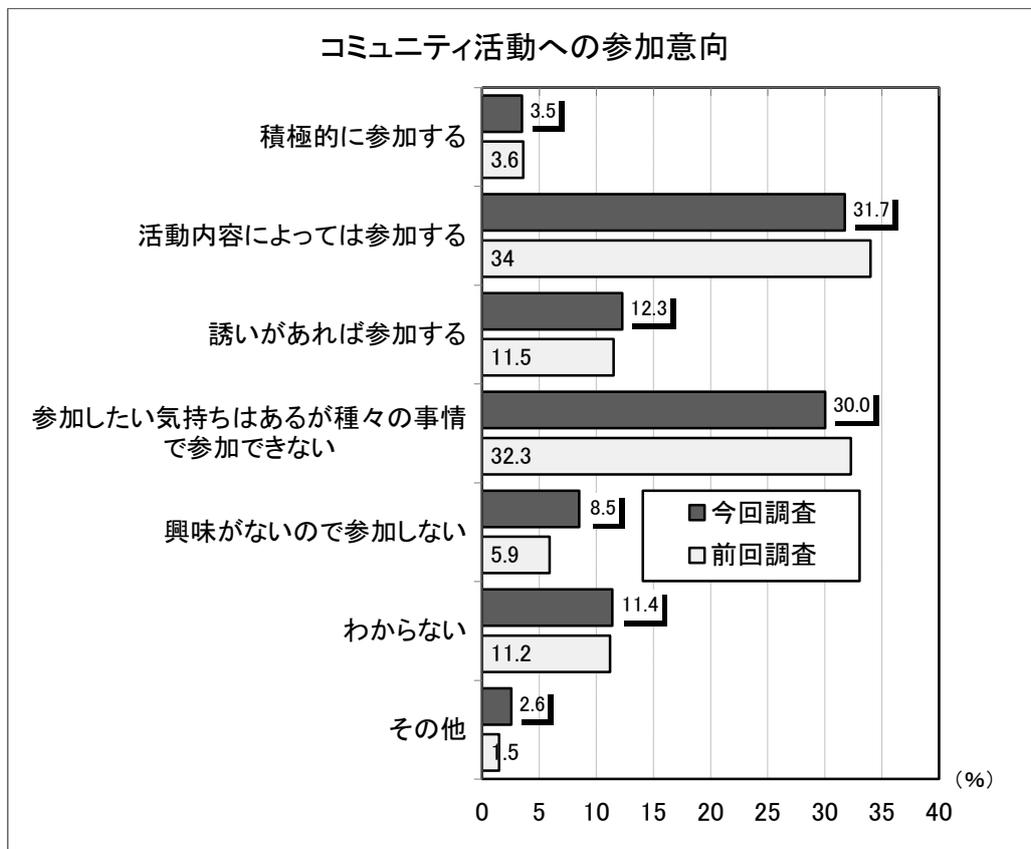
⑪コミュニティ活動への参加意向

「活動内容によっては参加する」…31.7%、

「参加したい気持ちはあるが種々の事情で参加できない」…30.0%

「活動内容によっては参加する」が最も多く 31.7%、「参加したい気持ちはあるが種々の事情で参加できない」との回答が 30.0%となりました。

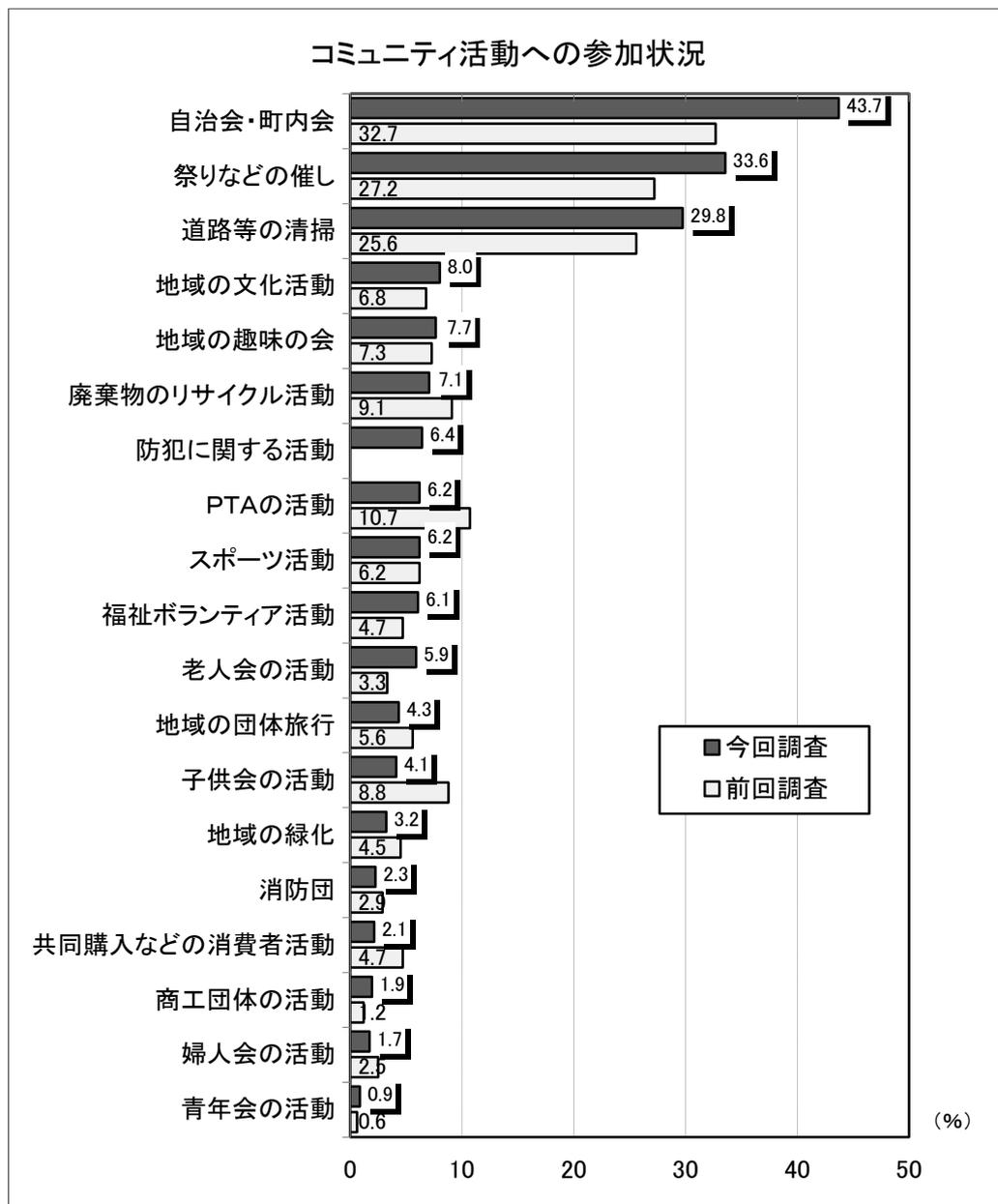
参加意向があると回答したのは 77.5%であり、市民の参加意欲はかなり高いと判断されるものの数値的には前回調査の結果とほぼ同様であり、参加意欲が高まっている傾向は捉えられませんでした。



⑫コミュニティ活動への参加状況

「自治会・町内会」…43.7%、「まつりなどの催し」…33.6%

「自治会・町内会」への参加が43.7%と高率で、「祭りなどの催し」が33.6%、「道路等の清掃」は29.8%となりました。これらの活動については前回調査の結果よりも増加しています。



以上が、市民意識調査報告の概要です。今後は、この調査結果を十分検討しながら新しい総合計画をつくっていきます。引き続き、市民の皆さんの積極的なご協力をお願いします。

なお、この調査の結果報告書は、佐倉市役所市政資料室、企画政策課、市内図書館で見ることができます。

佐倉市 企画政策部 企画政策課（櫻井、舎人、小林）

電話：043-484-1111（代表）